



期日	令和6年9月30日（月）	時間	19:00～20:15	場所	坂井市役所3階大ホール
参加者	坂井市自治会連合会代議員／9人 …三国町区長会連合会役員、地区区長会会長				
	坂井市／7人 …市長、副市長、教育長、総務部長、建設部長、生活環境部長				

参加者からの意見・提案等

Q.地震で人命が亡くなるのを防ぐ1丁目1番地は家屋の耐震化だと、能登半島地震は示しています。県では、来年度までの期限付で耐震改修工事補修事業がスタートいたしておりますが、坂井市独自にこの補助制度を継続して欲しいです。また、市を挙げて真に機能する個別避難計画策定にぜひ取り組んで欲しいです。

Q.歴史的風致維持向上計画の中の街なみ環境整備という中で、旧三国町市街地市道の無電柱化計画について、地元住民不在のまま計画が進み、予算化されてから地元説明をされると困ってしまいます。実施すべきところは実施した方がいいと思いますが、狭隘地区においては路上機器の設置場所等様々なトラブルも想定されます。そのあたりはどうお考えでしょうか。

Q.公園を人の集まるスポットにするために、ベンチの増設と紫外線対策を。今、高齢化が進む中、様々な不安を抱えている方が増えています。そのSOSをキャッチするためにも人と話すこと、コミュニケーションこそが不安を取り除く一歩になると思いますので、子どもから高齢者までが集まる場所を作ることが大事だと思います。

Q.今後、自分でごみを出すことのできない高齢者世帯も現れると考えられるため、希望制で拠点回収からステーション回収に変更できるようにする。または、ごみ出し支援助成金を創設し、高齢者などごみ出しが不自由な方へ支援できるような制度を設けてはどうでしょうか。

市からの返答

A.今年度、耐震診断の予算を拡充をさせていただいたところで、来年度のさらなる拡充を図っていきたく思っています。個別避難計画につきまして、坂井市においては昨年度から策定を進めているところです。作成中ですのでなるべく早く完成させ、その上で、いろいろ議論をしていきたく思っています。

A.ご紹介があったように道路の幅員の問題があり、無電柱化を実施したいところと可能なところが異なることが1番の課題となっています。実施しやすい地域を優先するのか、技術的な問題も含めて検討していきます。他にも民地に路上機器を置く場合のこと等ありますので、実際にどのように実施していくのかは、特にその対象となる地元の区に対して丁寧に説明していきたく思っています。

A.公園は地域にとって非常に大切なところです。ハードについてどんな事柄ができるか、日陰をつくったり、ベンチをつくったりという充実については、市内に相当数の公園があるので、面積の広い公園から充実を図っているところです。まずは旧町単位で一つずつ大きな公園を整備し、次に中規模公園という順で、面積に応じて整備を図っていきたく思っています。

A.今、ごみの効果的な出し方について、7月から10月にかけてワークショップを開催しています。いろいろなパターンがある中で、できるだけ市の財政に負担のかからない、いい方法をとということも大事です。ステーション方式への変更、あるいはごみ出し支援助成金創設等、一度にできないかもしれませんが別の方式になるかもしれませんが、市民の皆さんと議論を重ねながら幅広く意見を聞いてできる限りいい方向に進めていきたく思っています。